

令和7年7月25日

2026年4月入学・2025年10月入学九州工業大学大学院工学府博士前期課程
一般選抜・第1回（一般型）試験問題の出題ミスについて

国立大学法人九州工業大学

令和7年7月19日（土）に実施いたしました大学院工学府博士前期課程一般選抜・第1回（一般型）の試験問題において、出題ミスがあることが判明いたしました。

この度の件により、受験者の皆様をはじめ関係者の方々に多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

今後このような事態が再び発生することのないよう、再発防止に万全を期して取り組んでまいります。

1 該当の試験分野

分野8 応用化学コース

2 該当の試験問題

学力検査（筆記）のうち「物理化学」

3 該当の受験者数

27名

4 出題ミスの内容

水素原子2s軌道の動径分布関数に関する問3-2において、問題文の式中で「1」と記載すべきところを誤って「r（小文字アール）」と記載してしまったため、適切な正答を導き出すことができない設問となりました。（詳細は別紙をご確認ください。）

5 ミス判明の経緯

試験終了後の採点時に、本学教員からの指摘により判明いたしました。

6 対応について

当該設問を全員正解として取り扱うことといたします。なお、合否判定及び令和7年7月31日（木）に予定している合格発表に影響はありません。

（本件お問い合わせ先）

国立大学法人九州工業大学

入試・教育接続課

TEL：093-884-3056

E-mail：nyu-jisshi@jimu.kyutech.ac.jp

出題ミスの内容

【誤】

問3-2 水素原子の2s軌道の動径分布関数を

$$P(r)dr = \frac{r}{8a_0} \left(2 - \frac{r}{a_0}\right)^2 \left(\frac{r}{a_0}\right)^2 \exp\left(-\frac{r}{a_0}\right) \text{ としたとき、}$$

2s軌道の動径分布関数が極大値をとる r を、 a_0 を用いて表せ。 a_0 はボーア半径である。

【正】

問3-2 水素原子の2s軌道の動径分布関数を

$$P(r)dr = \frac{1}{8a_0} \left(2 - \frac{r}{a_0}\right)^2 \left(\frac{r}{a_0}\right)^2 \exp\left(-\frac{r}{a_0}\right) \text{ としたとき、}$$

2s軌道の動径分布関数が極大値をとる r を、 a_0 を用いて表せ。 a_0 はボーア半径である。